

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ベンジルアルコール (国産特級)

製品番号 (SDS NO) : D000810-4

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：国産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署：品質保証部

電話番号：045-328-1715

FAX：045-328-1716

e-mail address：cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先：国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4

急性毒性(経皮):区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(中枢神経系、腎臓)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(中枢神経系)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

強い眼刺激

臓器の障害(中枢神経系、腎臓)

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経系)

水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

- 保護手袋/保護衣を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

**応急措置**

- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

**貯蔵**

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

**廃棄**

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別：

化学的特定名：ベンジルアルコール

慣用名又は別名：ヒドロキシメチルベンゼン、 $\alpha$ -ヒドロキシトルエン

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化学式
ベンジルアルコール	99 $\leq$	100-51-6	3-1011	C7H8O

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

**危険有害成分**

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ベンジルアルコール 1%以上

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ベンジルアルコール 1%以上

**4. 応急措置**

**応急措置の記述**

**吸入した場合**

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚(又は髪)に付着した場合**

- 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

**眼に入った場合**

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**

- 口をすすぐこと。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入: 咳、めまい、頭痛

皮膚: 発赤

眼: 発赤

経口摂取: 腹痛、下痢、嗜眠、吐き気、嘔吐

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガス、水性膜泡消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

霧状水により容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏れた液を密閉式の容器に集める。

残留液を砂または不活性吸収材に吸収させて安全な場所に移す。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

#### 安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

保護手袋/保護衣を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

#### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

（ベンジルアルコール）

日本産衛学会(2019) (最大値)25mg/m<sup>3</sup>

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色

臭い：特有臭

融点/凝固点：-15

沸点又は初留点：205

可燃性(ガス、液体及び固体)：可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：1.3

爆発上限：13

引火点：(ベンジルアルコール)(C.C.) 93°C

自然発火点 : 436°C  
pH : 知見なし  
溶解度:  
水に対する溶解度 : 4 g/100 ml  
n-オクタノール/水分配係数 : log Pow1.1  
蒸気圧 : 13.2 Pa(20°C)  
密度及び/又は相対密度 : 1.04  
相対ガス密度(空気=1) : 3.7  
20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1) : 1

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

空気に触れて徐々に酸化され、ベンズアルデヒドから安息香酸になる。

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

吸湿性がある。

### 危険有害反応可能性

強力な酸化剤と反応する。

ある種のプラスチックを侵す。

### 避けるべき条件

火源、熱、日光、混触危険物質との接触

### 混触危険物質

酸、酸化性物質

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

##### 急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

rat LD50=1200mg/kg (JECFA FAS48, 2001)

##### 急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

rabbit LD50=2000mg/kg (SIDS, 2004)

##### 急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

mist: rat LC50 >4.178mg/L/4hr (OECD TG403, GLP) (SIDS, 2004)

### 局所効果

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

ラビット (OECD TG405) 中等度の刺激性 (SIDS, 2004)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

#### 生殖細胞変異原性データなし

#### 発がん性データなし

#### 催奇形性データなし

#### 生殖毒性データなし

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

中枢神経系、腎臓(日救急医学会誌 vol. 29, p.254, 2018)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

麻酔作用(環境省リスク評価第11巻, 2013; SIDS, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

中枢神経系(PATTY 6th, 2012)

誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に毒性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

魚類(ブルーギル) LC50=10mg/L/96hr(環境省リスク評価第11巻, 2013)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC=51mg/L/21days(環境省リスク評価第11巻, 2013)

水溶解度

(ベンジルアルコール)

4 g/100 ml (ICSC, 2000)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(ベンジルアルコール)

log Pow=1.1 (ICSC, 2000)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

#### 14. 輸送上の注意

##### 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

ベンジルアルコール

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

##### 労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ベンジルアルコール 1%以上

名称通知危険/有害物

ベンジルアルコール 1%以上

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

##### 消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性液体 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法に該当しない。

##### 大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

ベンジルアルコール

##### 適用法規情報

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法): 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

輸入貿易管理令第2条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第1の16の項

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

#### 16. その他の情報

##### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.10 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。